

(様式 1-5)

金山町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和5年10月10日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業	事業番号	A-1
事業実施主体	金山町	総交付対象事業費	8,712 千円		
既配分額	0 千円	当該年度交付対象事業費	8,712 千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
① 情報発信事業					
小計 8,712 千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 8,712 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用					
小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
令和8年度における観光入込客数 150,000 人 (平成22年度の約1.6倍) (うち訪日外国人 4,000 人 (うち台湾 2,400 人))					
事業概要					
事業実施主体	金山町				
主な企画内容	写真や動画、体験等の企画を通して、金山町の魅力について情報発信を行う。				
主な事業の実施場所	台湾 (台北市、新北市金山区)				
事業の実施期間	令和6年2月～令和8年3月				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
東日本大震災前は、豊かな自然や日本の原風景を求めて約10万人の旅行者が当町を訪れていたが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故による風評影響により、県外及び海外からの観光客は減少していった。その後は、農産物等のモニタリング検査の実施やその結果の公表等、県や関係団体と一体となって風評の払拭に取り組み、徐々に観光客が戻ってきたものの、それでも震災前の水準には戻っていない。また、回復基調にある中、令和5年8月のALPS処理水の海洋放出による風評の影響も懸念されている。					
<課題>					
当町を訪れる観光客数は回復基調にあるものの、海外からの観光客数の割合は依然として低い状況となっている。新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に位置づけられ、海外渡航の入国制限等の措置が解除されるなど、インバウンド需要を狙う好機であるところ、海外からの観光客、とりわけ割合の高い台湾からの観光客をいかに増加させるかが課題となっている。ALPS処理水の海洋放出により、浜通り地域のみならず福島県全体に対する風評影響の懸念がある中で、いかに当町の魅力や当町産農産物等の安全性について情報発信を行っていくかも課題となっている。					

## 【課題に対するこれまでの取組と成果】

### <取組>

- 台北駐日経済文化代表處代表が町を訪問し町トップと会談（令和5年4月）
- 金山町国際交流協会と連携して台湾台北インバウンドキャラバン（平成29年12月、30年2月、31年2月）を実施
- 福島県只見線再開通準備室、金山町国際交流協会と連携して、台湾奥会津・只見線PRイベント（令和元年12月）を実施
- 奥会津かねやま移住地住活性化委員会と連携して、ショートムービー『あいせき列車只見線』を制作、東京都日本橋、新潟県魚沼市、町内イベント（沼沢湖水まつり）にて上映するとともに、当町HPにおいても公開（第2弾も計画中。第2弾では台湾での撮影も計画）
- 当町公式HP等による情報発信

### <成果>

台湾に向けたプロモーションの結果、台湾との交流を実施している全国の賛同自治体で構成される日台協栄首長連盟が令和3年12月に設立され、当町も加入した。令和4年11月には、当町の町議会議員団が台北駐日経済文化代表處（東京都港区）を訪問し、今後の交流について意見を交わした。

## 【今年度事業における具体的な取組内容】

- ・奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業

実施期間：令和6年2月

実施体制：金山町、観光物産協会、金山町国際交流協会、金山町商工会、委託事業者

概算費用：8,712千円

取組内容：

- ① 日本原風景奥会津 JR 只見線（金山町版）写真展（令和6年2月22日～28日の7日間）  
台湾で人気のある JR 只見線の風景を中心とした写真展を実施。JR 只見線の風景のほか、雪遊び体験、伝統文化、炭酸温泉等の写真や動画を展示して、台湾の人々に金山町や只見線沿線自治体の魅力を発信するとともに、写真展開催期間中に実施するイベント（ギャラリートーク、編み組体験等を予定）の宣伝や、金山町の観光パンフレットを配布し、町の魅力の情報発信を行う。  
会場については、台湾人来場者の中でも鉄道に関心のある人々がより集まりやすい会場（国立台湾博物館鉄道パーク公園を予定）を選定し、集客を図る。
- ② 金山町台湾プロモーション事業（令和6年2月24日～27日）  
写真展の開催に合わせて、写真展の会場で郷土写真家及び関係インフルエンサーなどによるギャラリートークを行い、来場者へ当町の魅力を発信する。  
また、政府関係者、現地旅行関係者、現地インフルエンサー等を招聘したセレモニー、レセプションなどを実施し、ショートムービーの上映等を通じて、当町に訪れたりツアーの造成に結びついたりするような情報を発信する。併せて、新北市金山区の代表者や交流関係団体等を訪問し、当町の情報発信と将来に向けた交流についての意見交換を実施する。

### ※当町の魅力

- ・景観の魅力：JA 只見線、只見川、沼沢湖等の四季（写真及び動画による PR）
- ・食の魅力：郷土食（ヒメマス料理、ブランド野菜料理）（パンフレットなどにより PR）
- ・体験の魅力：スキー場での雪遊び、炭酸温泉など（動画による PR 予定）
- ・伝統文化の魅力：編み組細工（体験会を予定）、塞ノ神（神事）（動画による PR を予定）

### ※レセプション招聘予定者

- ・台湾政府関係者及び台湾観光旅行会社、旅行雑誌編集者

## 【今年度事業における目標】

### ・アウトプット

- ① 写真展の開催数 1回
- ② ギャラリートーク等の開催 2回

### ・アウトカム

- ① 写真展示会場の来場者数 2,000人
- ② ギャラリートーク等参加者数 100人

**【今年度、事業の実施により得られる効果】**

- ・台湾関係者に当町や福島県の魅力や安全性を理解していただき、当町への関心を高める。
- ・政府関係者へ今後の交流事業について理解を得る。
- ・台湾旅行関係者へ訪日ツアー（金山町）商品の造成につなげる。
- ・台湾の当町協力者（応援者）の人材確保につなげる。
- ・継続した交流について検討する機会の契機となる。

**【次年度以降の取組】**

令和6年度

- ・台湾観光関連事業者、台湾の金山区関係者を招聘するモニターツアーの実施

令和7年度

- ・政府機関や現地のインフルエンサー等による情報発信の実施
- ・台湾交流事業の映像コンテンツを作成、国内の各種イベントの来場者等県外の人々に向けた情報発信を実施

※令和6年度以降、只見線沿線町村と連携した台湾を中心としたインバウンド事業の取り組みの実施を想定